

# 山歌

共に、生きる。

かつて日本の山々に実在した流浪の民・山窩（サンカ）。  
財産も戸籍も持たず、ときに蔑まれ、ときに自然の恵みを一身に浴びた。  
混乱の今、これまでを問い、これからをつくる私たちの物語。

伊参スタジオ映画祭  
シナリオ大賞2018  
大賞受賞

第17回大阪アジア映画祭  
(OAFF2022)  
インディフォーラム部門  
正式招待

杉田雷麟 小向なる  
飯田基祐 蘭妖子 内田春菊 / 渡川清彦  
白石優愛 五十嵐美紀 星野恵亮 渡邊純一 若松剛歩 増田敦

監督・脚本・プロデューサー 笹谷遼平

音楽 茂野雅道 | 撮影 上野彰彦 (JSC) | 照明 茂川周 | 美術 小澤秀高 | 録音 小川武 | 衣装 金子澄世 廣田護子 | ノイック 塚原ひろの | 編集 菊池智美 | 助監督 葛西純 | 潤滑 橋本光生  
アソシエイトプロデューサー 松岡周作 | 協力 伊参スタジオ映画祭実行委員会 | 製作 六字映画機構 | 配給・宣伝 マジックアワー

2022年 / 日本 / カラー / 1.85:1 / 5.1ch / 77分 ©六字映画機構

# 「あるんだよ。 人間だけが見えない世界」

日本のノマド、山窩（サンカ）とは——

かつて日本に実在していた山の漂泊民。彼らは戸籍を持たず、山から山へ、旅の生活を続け生きていた。また竹細工や籠、箕（み）などを作り、直し、川魚を獲り、それらを売ることを生業とし、山中と山里を行き来した。日本社会の近代化とともに減少し、そのほとんどが一般社会に溶け込んだと言われている。

高度成長にわく1965年。受験勉強のため、東京から祖母の家がある片田舎に帰ってきた中学生の則夫は、ふとしたきっかけで、山から山へ漂泊の旅を続けるサンカの家族と出会う。一方的な価値観を押し付けられ、生きづらさを抱えていた則夫は、既成概念に縛られず自然の一部として生きている彼らの姿に魅せられていく…。



主人公則夫を演じるのは、『半世界』『罪の声』『孤狼の血 LEVEL2』など話題作への出演が続き、いま最も注目される若手実力派俳優、杉田雷麟。初主演となる本作ではナイーブさを漂わせた孤独な少年を好演する。則夫が出会う野性味あふれる心優しいサンカの娘ハナには、女優、アーティストとして活動する小向なる。その父親で流浪の民サンカ一家の長、省三を渋川清彦が独特の存在感をたたえ体現している。監督は、北日本の馬文化に密着したドキュメンタリー映画『馬ありて』など「自然の中で人間がいかに生きるか」をテーマに映画を撮り続ける笹谷遼平。『山歌』は自身初の長編劇映画作品となる。

杉田雷麟 小向なる 飯田基祐 蘭妖子 内田春菊 / 渋川清彦 白石優愛 五十嵐美紀 星野恵亮 渡邊純一 若松例歩 増田敦

監督・脚本・プロデューサー 笹谷遼平

音楽 茂野雅道 | 撮影 上野彰吾 (JSC) | 照明 浅川周 | 美術 小澤秀高 | 録音 小川武 | 衣装 金子澄世 廣田蘭子 | メイク 塚原ひろの | 編集 菊池智美 | 助監督 葛西純 | 制作 橋本光生  
アソシエイトプロデューサー 松岡周作 | 協力 伊参スタジオ映画祭実行委員会 | 美術協力 日本民藝館 | 特別協賛 株式会社山歌 | 製作 六字映画機構 | 配給・宣伝 マジックアワー  
2022年 / 日本 / カラー / 1.85:1 / 5.1ch / 77分 ©六字映画機構

[www.sanka-film.com/](http://www.sanka-film.com/)

全国へ広めたい！クラウドファンディングにご協力をお願いします >



4/22  
金

新宿駅東口 伊勢丹メンズ館隣 B1F  
**テアトル新宿**  
03 (3352) 1846 [www.ttcg.jp](http://www.ttcg.jp)  
テアトルシネマグループ

吉祥寺PARCO B2F  
**UPLINK 吉祥寺**  
0422-66-5042 [joji.uplink.co.jp](http://joji.uplink.co.jp)

■来場者プレゼント決定！  
**紀州備長炭使用  
美容バーム**  
各劇場、先着100名様  
提供：山歌製炭

■全国共通特別鑑賞券  
**1,400円(税込)発売中**  
劇場窓口にてお買い求めの方に  
**古布つきオリジナル  
トートバッグプレゼント！**  
(※数量限定 / 布とデザインはそれぞれ異なります)

